



肉質の向上を目指し、日本の米を飼料として供給
まい
**今年も「やまと豚 米らぶ®」給与用
 飼料米の田植えを開始**

いつまでも持続可能な“地域循環型農業”
 を目指し、飼料米の生産量増加へ

養豚から肉の加工・流通をはじめ、飲食店までを一貫経営で展開する株式会社フリーデン（本社：神奈川県平塚市／代表取締役社長 大谷康志）では、豚肉ブランド「やまと豚」から発展した「やまと豚 米らぶ®」に対し肥育用の飼料として給与する米の田植えを、今年も6月上旬より岩手県一関市で始めました。

今年度は、作付面積 110 haにおいて、500t(玄米)の生産規模を予定しており、これにより、16,800 頭の「やまと豚 米らぶ®」の出荷を想定しております。

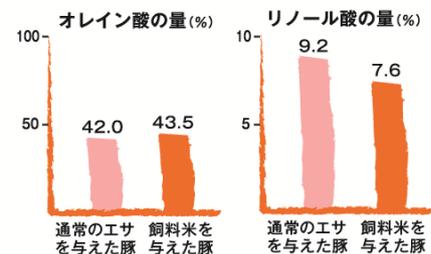
※飼料米生産量と出荷頭数の推移は次ページ参照

フリーデンは、肉質向上を目指すと共に地域循環型農業の実現、食糧自給率の向上、農地再生など、様々な社会貢献に寄与することを目的に養豚飼料に自らが生産した米を利用し、豚肉ブランド「やまと豚 米らぶ®」の生産に努めております。

■肉質の向上

～さらにおいしく、体にやさしい豚肉をつくるために～
 飼料米を肥育段階で豚に与えると、悪玉コレステロール値を下げるといわれるオレイン酸が増え、過剰に摂ると善玉コレステロールを減らすといわれるリノール酸が少なくなるという公的機関による実験結果があります。

豚肉の脂肪酸組成に与える影響



※2009年7月 畜産草地研究所
 「飼料米の生産技術・豚への給与技術」より

■地域循環型農業の実現を目指す

『やまと豚米らぶ』の排泄物を堆肥化し、これを施肥して生産される飼料米を給与するという循環により、環境に優しい農業モデルを構築しております。

今後は、飼料米の生産量と出荷頭数の向上を図り、さらには風力発電による電力の自給自足の実現を目指すことで、より完全な“地域循環型農業”の確立を目標としております。

※次ページ「循環型農業モデル」イメージ図参照

■農地再生と雇用創出

中山間地域の休耕田を利用して家畜専用の米をすることにより、農地の再生を目指しています。また稲作農業と畜産業との連携によって新たな事業を生む「飼料米プロジェクト」では、次世代の担い手に向けて活躍の場を創出しております。もちろんフリーデン牧場でも若い社員たちが健康な豚の育成に励んでいます。

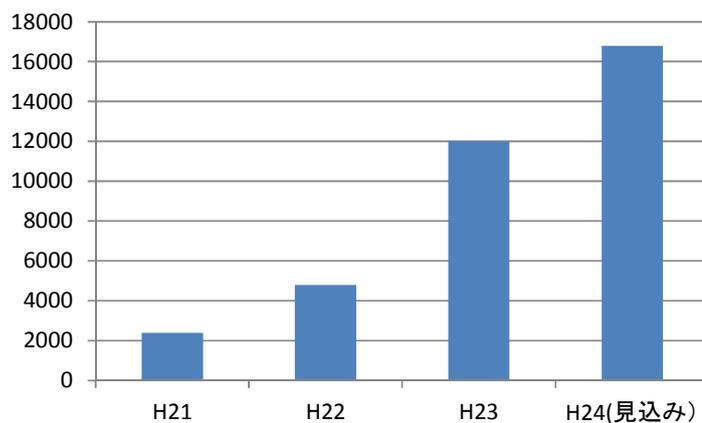
■食糧自給率の向上に寄与

家畜の飼料は、その多くが輸入穀物に頼っているのが現状です。日本の米を飼料として利用することは、国内での食糧自給率向上に寄与することにつながります。

やまと豚米らぶ®出荷頭数推移

— 記 —

田植開始日：平成24年6月上旬
 田植地：岩手県一関市
 作付面積：110ha
 生産予定数：500t
 飼料適用豚：やまと豚^{まい}米らぶ®
 出荷予定頭数：16,800頭



※H23は震災の影響で4～8月は出荷停止

■やまと豚^{まい}米らぶ®とは

やまと豚に対して飼料米を飼料として与えることで肉質の改善を図ったブランド。公的機関の試験場や農場での給与実績でも、オレイン酸が増え、リノール酸が少なくなる結果が出ており、悪玉コレステロールを抑え、善玉コレステロールの減少が期待される。

さらにやまと豚の排泄物を原料とした肥料で飼料米を育てていることで、“循環型農業”のモデルを形成。また、休耕田を利用した稲作により、雇用機会の創出や治水をはじめとする環境保全など社会的貢献にも寄与している。

やまと豚^{まい}米らぶ

国内フリーデン牧場で生まれ、飼料米を食べて育ったスペシャルな豚。



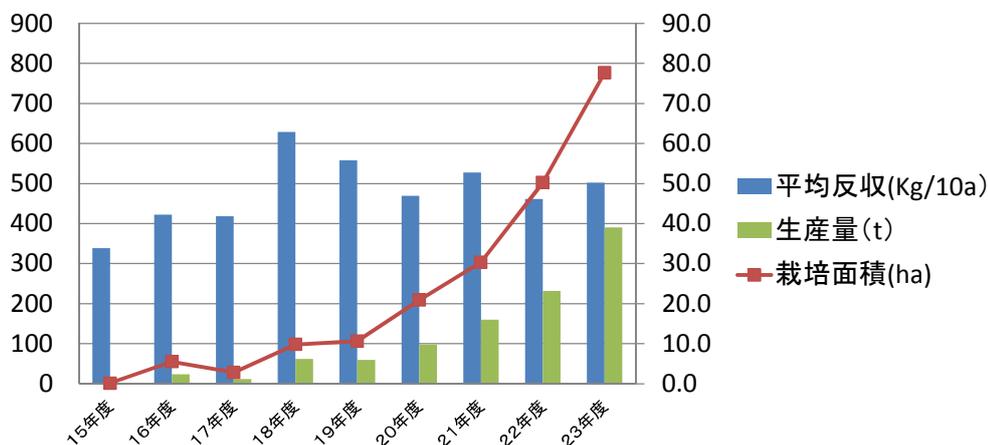
飼料米

家畜専用のお米。通常の飼料に一定量配合し、肥育段階で豚に与えられます。

たい肥 (大地くん)

やまと豚の排せつ物を原料につくられた良質なたい肥で飼料米を育てます。

一関市大東地域における飼料米生産状況



※一関市内の他の地域での生産も行われています

会社概要

- 会社名： 株式会社フリーデン
代表取締役社長： 大谷 康志
本社所在地： 神奈川県平塚市南金目 227
電話番号： 0463-58-0123
ホームページ： <http://www.frieden.jp/>
資本金： 1 億円
売上高： 172 億 34 百万円（平成 23 年 3 月期）
設立年月日： 昭和 35 年 5 月 13 日
従業員数： 221 名（平成 24 年 3 月現在）
事業内容：
 - ・ 豚肉の生産・加工・販売
 - ・ 仔豚・活豚等の生産・販売
 - ・ ハム・ソーセージ及び調理済食肉加工食品の製造販売
 - ・ 飲食店の経営
 - ・ 自然環境エネルギーによる発電ならびに売電事業事業所：
 - 首都圏事業部（神奈川県平塚市南金目 1058）
Tel：0463-58-6120/Fax：0463-58-6124
 - 東京営業所（東京都中央区銀座 3-7-2 オーク銀座ビル 5F）
Tel：03-3561-1129/Fax：03-3538-7892
 - 北関東事業部（群馬県前橋市力丸町 482-2）
Tel：027-265-6910/Fax：027-265-6911
 - 東北営業所（宮城県仙台市青葉区五橋 1-4-24 ライオンズビル五橋 805）
Tel：022-227-2986/Fax：022-227-2989
 - 東海事業部（愛知県あま市篠田稲荷 78）
Tel：052-446-3912/Fax：052-446-3913
 - 北陸営業所（富山県富山市二口町 4-7-14 S.F ビル 2A）
Tel：076-492-4129/Fax：076-492-4137
 - 関西事業部（大阪府大阪市北区浮田 1-1-20 アサヒビル本館 401）
Tel：06-6371-9565/Fax：06-6371-9566

■ 本件に関する読者の方のお問い合わせ先

株式会社 フリーデン 広報担当：落合あずさ

〒259-1201 神奈川県平塚市南金目 227 / TEL：0463-58-0123 / FAX：0463-58-6314

■ 本件に関する記者・編集者の方のお問い合わせ先

株式会社 横浜アーティスト 担当：清水和城

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町 1 シルクセンター4F

TEL：045-681-3731 / FAX：045-681-3735 / e-mail：kazu-s@y-artist.co.jp